

3.ともに学び・成長できるまち うらやす

(1) 子どもと家庭の健康の保持・増進

事業番号	39	事業名	小中学生と幼児とのふれあい体験等の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	赤ちゃんと触れ、命や子育ての大切さについて考える機会を持つことを目的に、小中学生と赤ちゃんとふれあい体験講座等を実施します。				
	実施の受け入れ	平成20年実績	実施	平成26年目標	実施
平成22年度 実施状況と評価	市内小中学校及び高校の社会体験活動の中で、各保育所においてその機会を提供している。これから親となる世代に子育ての楽しさやすばらしさを伝えるため、乳幼児との交流を通じてその機会を持つことができた。 平成23年3月末現在実績値 実施				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	地域と学校の連携の下、体験を通じ豊かな人間性を育成する上で、乳幼児などと交流する機会の提供は必要であり今後も継続していく。				

事業番号	40	事業名	【重点】 青少年ボランティア育成事業	担当課	社会福祉協議会
計画内容	さまざまな経験を通して子どもたちの成長を支援するため、地域における青少年ボランティア育成事業を推進します。				
	夏休み体験説明 会 参加者数	平成20年実績	59人	平成26年目標	100人
平成22年度 実施状況と評価	<p>夏休みボランティア体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動(広報うらやす・ミニコミ誌への記事掲載、市内中学・高校・大学への募集要項配布) ・ 開講式(オリエンテーション・参加者懇親会)、閉講式の実施 ・ 施設でのボランティア体験 中学1年生以上を対象に青少年にボランティア活動を普及させることを目的とし、夏休み期間にボランティア活動を希望する学生へのオリエンテーションの実施と、受入施設とのマッチングを行った。 <p>参加人数 62名(中学生48名・高校生13名・大学生1名) 受入施設数 15箇所(高齢者施設7箇所・保育施設8箇所) 小中学校等でのボランティア体験教室への協力 12校 明海大学ボランティア理論講座への講師協力 2回</p> <p>夏休みボランティア体験学習について、昨年度とはプログラムを変えて行った。 変更点は、開講式に懇親会(食事を皆で作って食べる)を行ったこと 活動期間を夏休みいっぱいから一定期間に指定したこと。 受入施設をある一定数に限定したこと。 懇親会は、食事を作るグループと場所をセッティングするグループに分けたところ、時間配分等うまくいかず、予想したとおりの交流の効果は期待できなかった。 活動期間を一週間程度に絞ったことで施設との連携も図りやすくなり、活動者の動向も知ることが容易になった。 活動施設をある一定数に限定したところ、施設との連携が密に図られ、活動者へのフォローがしやすくなった。</p> <p>体験学習参加人数 62名 延人数 142名</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	夏休み体験ボランティア学習については昨年度と同様の形式で実施予定。課題が残った懇親会に関しては、ボランティア同士の交流がより図られ、当事業を通じて仲間作りができるようなプログラムの見直しを行う。また来年度は、青少年へのボランティア活動や福祉貢献活動の普及を促進させるため、市内各学校との連携を図り、当事業の趣旨をより多くの学校長や先生に理解してもらうことを目標とする。予想を超える希望者があった場合に活動希望者と受入施設への迅速な対応ができるよう、事前調整を入念に行う。 市内小中学校へのボランティア体験教室協力については、講座の内容のほとんどが高齢者体験に限られているため、他ボランティア団体への協力呼びかけと、市内学校へのPRを行い、農園体験や昔遊び体験といったもっとバラエティーに富んだ内容の講座の普及が図られるように行っていく。				

事業番号	41	事業名	【重点】 青少年交流施設(新浦安カルチャープラザ)における青少年の意欲の創出促進のための事業の充実	担当課	青少年課
計画内容	青少年の社会参加への意欲を創出するため、各種体験教室等を実施するとともに、青少年の自主的活動への積極的な支援を図る。				
	延利用者数	平成20年実績	28,117人	平成26年目標	30,000人
平成22年度 実施状況と評価	平成22年度も昨年同様に、様々な学習教室が展開され、多くの青少年が参加している状況にある。青少年広場や音楽室の利用促進のための工夫を凝らすなど、利用者数増加に積極的に取り組んでいる。 時代のニーズを捉えながら、青少年の興味を引くような事業を展開している。また、高校生が利用しやすいように空き室の活用を工夫するなど、青少年が交流しやすい環境づくりに努めている。 平成22年3月末現在実績値 29,134人 震災以降は閉館				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	青少年広場や音楽室の利用促進を図りたい。				

事業番号	42	事業名	【重点】 青少年交流活動センター(うら・らめーる)における青少年の自立を促進するための事業の充実	担当課	青少年課
計画内容	青少年の交流活動を通じて、青少年の健全育成を図るため、宿泊や創作、環境等の体験学習活動を展開し、青少年の自立を促進します。				
	修了者数	平成20年実績	33人	平成26年目標	毎年33人養成により拡大
平成22年度 実施状況と評価	平成20年度の指定管理者の更新から3年目を迎え様々な事業が展開されてきている。青少年向けの事業も過去2年間の実績やアンケートを踏まえながら、顧客ニーズを把握しながら計画されており、リピーターとなる方々も増加してきている。指定管理期間5年間の提案内容も順調に行われており、利用者からの評判もよい状況である。事業についても実施後の見直し、検討がなされており次回への期待感がうかがわれる。 平成23年3月末現在実績値 464人				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	提案内容の洗い出しや、利用者の定着を図りたい。				

事業番号	43	事業名	ジュニアリーダー研修会によるリーダー育成の実施	担当課	青少年課
計画内容	小学4年生から6年生を対象に、リーダーとして必要な行動力・受容力・表現力を身につけていくことを目的とした研修を行います。				
	延訪問指導件数	平成20年実績	1,139人	平成26年目標	継続
平成22年度 実施状況と評価	リーダーに必要な知識・技術を習得する中で、リーダーとしての資質の向上を図り、同時に青少年団体の活動の充実・発展につなげる役割を果たしている。 目標 (1) 表現力を身につける。(2) 受容力を身につける。(3) 行動力を身につける。 ・全8回の研修会 ・参加者27名(男子9名、女子18名) 毎年同様の研修を行う中で、研修内容に工夫をこらしながらジュニアリーダーの育成を図っている。今回は特に表現力に視点を置いた指導を行った結果、研修報告会では、保護者を前にしながら堂々とした発表を行うことができた。 平成23年3月末現在実績値 研修修了者 24名				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	更に研修内容を見直し、規範意識を持たせるような内容を取入れていく。全8回の研修、定員30名程度を予定している。				

事業番号	44	事業名	【重点】 こども版広報うらやすの発行	担当課	広報広聴課
計画内容	<p>市内小・中学校長から推薦された児童・生徒からなる「こども記者」が取材・写真撮影・原稿作成・編集を行い、市立小・中学校に配付します。 浦安のことや市の仕事などを、こども記者がこどもの目線で紹介することで、住んでいるまちに興味を持ってもらうことを目的として発行しています。</p>				
	発行部数・回数 平成20年実績		17,000部×2回	平成26年目標	17,000部×2回
平成22年度 実施状況と評価	<p>第5号は、市内小・中学校長が推薦した「こども記者」（小学生4人・中学生4人）8人で題材を決定し、取材・写真撮影・原稿作成・校正を行い、9月24日に発行しました。また、第6号は8人（小学生4人・中学生4人）のこども記者が、第5号と同じく題材決定から校正までを行い、平成23年2月18日発行しました。 浦安のことや浦安市内で活動している方を、こども記者がこどもの目線で紹介し、住んでいるまちに興味を持ってもらうという本事業の目的は、概ね達成されたものと考えます。</p> <p>平成22年度実績値 17,000部×2回</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	年1回発行予定。				

事業番号	45	事業名	青少年活動センター(うら・らめーる)の充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>指定管理者における運営について、提案内容の進行状況を見定めながら、利用の促進や市民サービス等について協議を図りながら事業を推進していきます。</p>				
	延利用者数 平成20年実績		36,316人	平成26年目標	38,000人
平成22年度 実施状況と評価	<p>平成20年度の指定管理者の更新から3年目を迎え、利用者の定着も図られてきている。青少年の交流施設であるという目的に沿いながら、顧客ニーズに応えることは難しい面もあるが、利用者数も順調に伸びてきている。施設開設より5年が経過し、ある程度の利用者数が定着する中で、少しずつではあるが、利用者数も伸びている。特にここに来て学校団体の利用が目立ってきていることは営業活動の成果であると思われる。</p> <p>平成23年3月末現在実績値 33,508人</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	新しい利用者の掘り起こしや利用者ニーズを捉えた事業の展開 第三者評価の導入				

事業番号	46	事業名	【重点】 青少年リーダー養成事業	担当課	青少年課
計画内容	<p>中学生を対象に、青少年健全活動の中心となるリーダーを養成し、青少年健全育成関係団体と協力しながら青少年の健全育成活動の推進を図ります。</p>				
	講演会延参加者数 平成20年実績		H21より実施	平成26年目標	200人
平成22年度 実施状況と評価	<p>4月に更に会員を募集し6名を追加し、29名の会員で研修会を実施している。 中学生ということもあり、毎回出席できる生徒は少なくなってきたが、事業計画に基づき根気よく継続を図っている。中学3年生も多く出席率が下がってきている。出席する生徒と欠席する生徒がはっきりとしてきていることが問題点としてあげられている。</p> <p>平成23年3月末現在実績値 会員24名</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	宿泊研修を取り込んだ魅力ある講習会の開催 活動継続する生徒の定着化				

事業番号	47	事業名	青少年館活動事業の充実	担当課	青少年課
計画内容	指定管理者の協定期間満了に伴う新たな指定管理者の指定を通じて、現状の改善を図りながら、より一層の事業の充実を進めます。				
	延利用者数	平成20年実績	40,630人	平成26年目標	42,000人
平成22年度 実施状況と評価	平成22年度より、新たに5年間の指定管理期間として運営を行っている。過去の実績に加え、教育的配慮をもった事業の展開を提案内容に取入れたことにより、児童、生徒の育成という視点で事業計画が立てられている。新たな指定期間の1年目ではあるが、今までの経験と実績を踏まえながら新たな事業への取り組みが見えている。職員の意識改善などにも意欲的に取り組んでいる。				
	平成23年3月末現在実績値 39,491人 震災以降は閉館				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	提案内容に沿った事業の展開及び青少年運営委員会の積極的な活用。				

事業番号	48	事業名	青少年活動支援の推進	担当課	青少年課
計画内容	青少年活動を実施する団体に対して、引き続き補助金交付を行い、側面からの活動支援を実施します。				
	交付団体数	平成20年実績	42団体	平成26年目標	45団体
平成22年度 実施状況と評価	補助金交付活動（浦安市子ども会育成連絡協議会、子ども会37団体、ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、浦安市リーダーズクラブ） ・側面的な支援（様々な事業の支援及び後援）				
	各団体とも自主的に地域に貢献する事業を展開しているため、良い評価と考える。会員が集まらないなど、各団体とも思慮しているが、広報活動などを協力しながら支援していきたい。				
	平成23年3月末現在実績値 43団体				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	平成22年度と同様に実施する。補助金の適正使用の徹底。				

事業番号	49	事業名	【重点】浦安市教育ビジョン(浦安市教育振興基本計画)策定事業	担当課	教育政策課
計画内容	義務教育を対象とする浦安市教育ビジョンについては、平成21年度に浦安市教育ビジョン策定検討委員会から答申を受け、平成22年度に教育委員会議での協議を経て策定予定です。				
	交付団体数	平成20年実績	42団体	平成26年目標	45団体
平成22年度 実施状況と評価	平成22年3月に浦安市教育ビジョン策定検討委員会から「浦安市教育ビジョンのあり方について」の答申を受け、4月より教育委員会議及び内部検討会議で協議を行うとともに、学校からの意見聴取や市民へのパブリックコメントを行い、平成22年11月に「浦安市教育ビジョン」を策定完了し、公表した。教育ビジョン報告書を作成し、市内全小中学校及び幼稚園、保育園、県立高等学校等に配付するとともに、教育情報誌「うらやすスタイル第13号」（平成22年11月1日発行）で、その概要を掲載し、市民へ周知した。				
	平成22年秋の策定完了を目標として本事業を推進しており、その目標を達成することができた。現在、平成22年度から平成26年度までの各事業の年次計画を教育総務部各担当課内で作成しており、2月に事業年次計画一覧を作成した。今後は、各事業を推進するとともにその進行管理を行う。				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	平成23年度は、保護者向けの教育ビジョン概要版を作成し、市内小中学生の全家庭に配付し、教育ビジョンの周知をするとともに普及を図る。平成23年度以降の各事業の年次計画について、教育総務部各担当課で震災による進捗状況の変更がないかを検討し、必要があれば修正を行う。				

(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備

事業番号	50	事業名	市立幼稚園3歳児保育の実施	担当課	保育幼稚園課										
計画内容	<p>幼児期の学びの環境を充実するために継続していきます。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施園数</td> <td>平成20年実績</td> <td>3園</td> <td>平成26年目標</td> <td>5園</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>平成20年実績</td> <td>120名</td> <td>平成26年目標</td> <td>250名</td> </tr> </table>					実施園数	平成20年実績	3園	平成26年目標	5園	定員	平成20年実績	120名	平成26年目標	250名
実施園数	平成20年実績	3園	平成26年目標	5園											
定員	平成20年実績	120名	平成26年目標	250名											
平成22年度 実施状況と評価	<p>3歳児保育は、現在5園(青葉、見明川、堀江、美浜南、入船南)で実施、定員は22年度から各園10名ずつ増やし、各園50名で実施した。</p> <p>22年度はできるだけ3歳児希望者を受け入れるため、定員を各園10人ずつ計50人増やしたことで、待機の状況は若干緩和されてきている。 また、これにより3歳児は合計250人定員となり、下記目標値を達成した。</p> <p>平成23年3月末現在実績値 実施5園の3歳児在籍数(3月1日時点)242名</p>														
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>新町地区の3歳児保育については誘致した私立園で対応しているが、新町の公立園でも3歳児保育を求める声があること。3歳児の優先区域は実施園のバランスからかなり広範囲で指定しており、抽選となった場合、園近くの子が入れず、遠い子が入園するといった逆転現象が生じること。 これらについては、今後の幼稚園のあり方検討のなかで対応の方向性を考えていく必要があり、23年度は庁内に検討プロジェクトチームを立ち上げて、基本的考えについて素案づくりを行う。</p>														

事業番号	51	事業名	小学校及び中学校の整備	担当課	学務課 (教育施設課)										
計画内容	<p>「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」を推進するため、学校適正配置等推進委員会を設置し、方針を実施するための手順や、スケジュール等の検討、推進にあたっての課題や問題点を整理検討します。また、高洲地区の児童生徒数の推計を見据え、中学校の適正配置について検討します。</p> <table border="1"> <tr> <td>検討委員会報告</td> <td>平成20年実績</td> <td>基本方針の策定</td> <td>平成26年目標</td> <td>方針の推進</td> </tr> <tr> <td>学校数(小/中)</td> <td>平成20年実績</td> <td>17校/8校</td> <td>平成26年目標</td> <td>18校/9校</td> </tr> </table>					検討委員会報告	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進	学校数(小/中)	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校
検討委員会報告	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進											
学校数(小/中)	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校											
平成22年度 実施状況と評価	<p>小学校 18校 児童数 11,178人、学級数 362学級(内特別支援学級 14学級) 中学校 8校 生徒数 3,886人、学級数 120学級(内特別支援学級 8学級) (平成22年5月1日現在) 富岡小学校の児童数増加への対処として、平成22年4月1日東野小学校新設開校</p> <p>東野小学校開校により、富岡小学校の大規模化が解消され、富岡・東野地区の学校配置の適正化が図られた。 平成20年度に策定した「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」ならびに平成21年度に開催した「第2次学校適正配置等推進検討委員会」での協議内容から、本年度は中町地区の学校統合を実現化するために、平成23年1月28日(金)に中町地区の学校関係者等を集め、学校統合に関する意見交換のための懇談会を開催した。</p>														
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>高洲地区の児童・生徒数の増加に対する対策として、高洲北小学校の増改築を行うとともに、入船中学校の生徒数の増加に伴う教室不足への対策として、ならびに高洲地区の街づくりの一環として、(仮称)第9中学校の開校に向けての準備を進める。 入船地区の学校統合に向けた準備委員会を開設し、市民に向けての説明の準備等を進める。</p>														

事業番号	52	事業名	少人数教育の実施		担当課	指導課
計画内容	<p>市立小・中学校全校に少人数教育推進教員を各校1～5名配置します（学務課）。県費教員と連携し、学習指導や諸活動にきめ細やかな指導を推進していきます。また、当該教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を後期は2回開催します。さらに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しを持った計画や取り組みができるようにするとともに、その進捗状況を把握できるようにします。</p>					
	少人数教育 推進教員人数	平成20年実績	69人	平成26年目標		78人
平成22年度 実施状況と評価	<p>市立小・中学校26校全校に、少人数教育推進教員を各校1～4名、計67名（中途退職や中途採用を含めた現在数）を配置した（学務課）。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細やかな指導の推進に貢献している。</p> <p>また、少人数教育推進教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を年間7回開催するとともに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しをもった計画な取り組みとなるように、また、その進捗状況把握ができるようにしている。</p> <p>市費少人数教育推進教員がT1として指導にあたり、県費教員と協力して少人数指導にあたりする点での改善が見られる。具体的には、2学期末のアンケート調査では、以下のような結果が出ている。習熟度別指導を“常時した”と“よくした”の小計の割合が34%、その他の少人数指導（単純分割など）を“常時した”と“よくした”の小計の割合が39%であった。また、チームティーチングの際、“T1として指導した”割合が64%であった。</p> <p>加えて、「困っていることや悩んでいることを聞いたりした」や「休み時間に一緒に遊んだりした」に関しては、前者について“常時した”と“よくした”の小計の割合が93%、後者について“常時した”と“よくした”の小計の割合が79%と、当該教員が児童生徒との関係においてより親密な人間関係を築くために努力し、生徒指導上も貢献していることが伺える。今後は、当該教員の活用について学校間の取り組みの差を少なくするとともに、各校の少人数指導の見通しを明確にしていくこと、また、形式的・固定的な授業を防ぎ、さらに児童生徒の実態や学習のねらいなどに応じた、より効果的な指導方法を検討していくことが必要である。本市の少人数教育推進教員の人材をどのように確保していくかが今後の課題となっている。</p> <p>平成23年3月末現在実績値 66人</p>					
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>少人数教育推進教員の人材確保にむけて、関係大学への訪問等により、関係大学の協力要請を強化していきたい。（学務課）</p> <p>学校訪問や各種研修会等を通して、各学校の実情を踏まえつつ、県費教員と連携したより効果的な指導方法の工夫改善に向けて指導、助言したい。（指導課）</p>					

事業番号	53	事業名	小規模学校選択制度		担当課	学務課
計画内容	<p>「自分にあった教育を受けたい」「子どもに適した教育を受けさせたい」という希望に応えるため、また、各学校がより良い教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを進めていく環境をつくるため、通学区域制度を弾力化し、保護者や子どもが入学先学校を希望できる小規模学校選択制度を導入・実施します。</p>					
	学校選択希望人数	平成20年実績	230人	平成26年目標		230人
平成22年度 実施状況と評価	<p>平成23年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生全員を対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象者へ学校紹介パンフレット発送（小学校 約1,800人、中学校 約1,900人） 2 学校公開日設定（10月中、約3週間） 受入可能校 小学校：6校 中学校：2校 3 平成22年度選択制度利用者 小学校 39名、中学校 143名 <p>平成15年度より実施している本制度について、お子さんや保護者が、自分に適した教育を受けたい、或いは子どもに適した教育を受けさせたいという希望を生かすため、学校選択の機会を拡大することというねらいは周知されていることから、その利用率は毎年安定的に推移してきている。今後の受け入れ学級数については学校ごとの教室数等を勘案しながら決定していく。</p> <p>また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを推進していくというねらいも、学校紹介パンフレットや学校公開等を通して浸透してきている。</p>					
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく予定だが、学校間格差や受け入れ時の時期や方法等も課題となっており、今後検討していく。</p>					

事業番号	54	事業名	キャリア教育の推進	担当課	指導課
計画内容	<p>キャリア教育推進委員会を設置し、児童・生徒の発達段階に応じた組織的、系統的なキャリア教育を推進します。</p>				
	開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標	3回
平成22年度 実施状況と評価	<p>発達段階に応じたキャリア教育について研修を行った。小学校におけるキャリア教育と中学校におけるキャリア教育の違いを理解することにより、それぞれの校種で身につけていく能力を確認した。</p> <p>小・中学校段階は、社会で自立的に生きる基礎の育成である。学校生活のいろいろな場面で、「将来、社会に出た時に必要な能力」を育てていくことを再確認した。また、体験学習については、小学校段階では働く大人の姿を見たり働く大人の話を聞いたりする機会を設け、中学校では職場体験活動を通して実社会の現実に向き合うことを確認した。</p> <p>市立各中学校（8校）のキャリア教育の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育全体計画・年間指導計画がある学校：8校 ・職場体験学習を実施している学校：8校 <p>市立各小学校（18校）のキャリア教育の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育全体計画・年間指導計画がある学校：18校 ・職場体験学習を実施している学校：2月下旬に調査予定 ・社会人講師を招いて働く大人の話を聞く学習をしている学校：2月下旬に調査予定 <p>キャリア教育推進委員会を年間3回実施（学期に1回ずつ）</p> <p>校種ごとのキャリア教育について理解を深めること、日々の積み重ねが重要であること、学校現場の意識の高揚が、キャリア教育を充実させること理解できた。</p> <p>小・中連携を図るために、中学校担当者は小学校の、小学校担当者は中学校の全体計画と年間指導計画を見合い、共通理解が図れた。</p> <p>各校のキャリア教育担当者だけでなく、職員全体に理解を図る必要がある。</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく予定だが、学校間格差や受け入れ時の時期や方法等も課題となっており、今後検討していく。</p>				

事業番号	55	事業名	スマートコンシューマー育成講座 消費生活講座に名称変更・事業番号56「夏休み 親子講座」と統合	担当課	消費生活センター
計画内容	<p>暮らしにかかわるテーマを取り上げて実施し、消費生活に関するトラブルの未然防止や解決方法について、親子で話し合うきっかけづくりとなる講座を実施します。</p>				
	参加者数	平成20年実績	86人	平成26年目標	150人
	開催回数	平成20年実績	5回	平成26年目標	6回
平成22年度 実施状況と評価	<p>親子料理教室 実施日：平成22年8月22日（日）・参加者数：親子8組 16人 平成23年2月20日（日）・参加者数：親子12組 26人</p> <p>成人者向け講座 実施日：平成23年3月9日（水）・参加者：22人 平成23年3月16日（水）、3月23日（水）の講座は震災により中止</p> <p>事業内容：親子のコミュニケーションを深めることや「千葉県の食材を使用した郷土料理」を楽しく作りながら、環境や食事の大切さを考える食育を目的に実施している。また、各種専門的な分野での消費者講座を実施した。</p> <p>事業評価：親子料理教室は、毎年定員を超えるニーズの高い事業であり、22年度では2月に2回目の親子料理教室を実施した。</p> <p>平成23年3月末実績値 64人 3回</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>親子料理教室については、23年度においては年2回の講座を予定している。</p> <p>本講座については、今後も市民ニーズに対応した事業運営を考えている。小中高の児童・生徒・学生を対象とした講座は、専門相談員による出前講座を中心に考えていきたい。また、子ども関連に関する講座については、消費生活センターとしては子どもに関連した製品事故や食品等での誤飲に関する情報を提供するなどの方法も検討をしていきたい。</p>				

事業番号	56	事業名	夏休み親子講座 事業番号55「消費生活講座」に統合		担当課	消費生活センター														
計画内容	<p>小学生の親子を対象に、エコクッキングや旬を取り入れた料理教室などを夏休み期間に実施し、環境に配慮した生活や栄養・食材の知識、食事の大切さなどを親子で考えてもらう機会を充実します。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>平成20年実績</td> <td>基本方針の策定</td> <td>平成26年目標</td> <td>方針の推進</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>平成20年実績</td> <td>17校/8校</td> <td>平成26年目標</td> <td>18校/9校</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						参加者数	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進			開催回数	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校		
参加者数	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進																
開催回数	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校																
平成22年度 実施状況と評価	事業番号55「スマートコンシューマー育成講座」の名称を「消費生活講座」に改め、「夏休み親子料理教室」を「消費生活講座」に組み入れ一本化した。																			
平成23年度 事業予定と 今後の課題																				

事業番号	57	事業名	消費生活出前講座		担当課	消費生活センター														
計画内容	<p>各中学・高校生、PTA、教師などの集まりに、直接消費生活相談員が出向き、「若者が巻き込まれやすい消費者トラブル」などのテーマで出前講座を実施することにより、様々な悪質商法やその対処法の知識を身につけてもらい、かしこい消費者を育成します。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>平成20年実績</td> <td>基本方針の策定</td> <td>平成26年目標</td> <td>方針の推進</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>平成20年実績</td> <td>17校/8校</td> <td>平成26年目標</td> <td>18校/9校</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						参加者数	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進			開催回数	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校		
参加者数	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進																
開催回数	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校																
平成22年度 実施状況と評価	<p>毎年4月に明海大学新入生オリエンテーションの中で、悪質商法についての講座を実施しており、悪質商法や消費者情報の啓発、問題が生じた際は消費生活センターに相談に来るようこの説明を行うことで被害防止、問題解決の役割を果たしている。その他としては、社会福祉協議会、自治会、老人会等に講座を実施している。</p> <p>明海大学 1回実施 対象者数(新入生) 約1,400人 その他 9回実施 参加者数 191人</p> <p>平成23年3月末実績値 平成22年度 1,591人 10回</p>																			
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後においても、中・高・大学への生徒・学生への講座を始め、教職員、PTA役員、保護者への案内を継続的に行っていきたい。また、自治会、老人会、社会福祉団体にも同様に行っていきたい。</p> <p>教育機関である中・高・大学からの講座の要請が少なくなっているため、今後の課題として対応を考えていきたい。</p>																			

事業番号	58	事業名	消費生活展	担当課	消費生活センター
計画内容	消費生活に関する情報を提供するとともに、身近な問題を取り上げパネルなどの展示により、消費者保護と啓発を図ります。市民まつりの中で実施し、パネル展示、啓発パンフレットの配布、手作り体験コーナーやクイズラリーによる景品の配布を行います。 来場者の50%近くは子どもであることから、手作りコーナーやクイズラリーを実施し、友達同士や親子で楽しみながら、消費生活に対する知識を深める場として開催します。				
	参加者数	平成20年実績	1,129人	平成26年目標	1,500人
平成22年度 実施状況と評価	消費生活に関する情報提供をするとともに、身近な問題を取り上げパネルの展示や県計量検定所や製品事故関係機関等の参加を依頼し、消費者保護と啓発を目的に実施している。実施日については、市民まつりの中で実施しており多くの市民（50%が子ども）の方が来場をされている。また、各公民館まつり、老人福祉センター施設、敬老会等の施設・行事を活用し、パネルやチラシ等を展示し消費生活情報の啓発に努めた。 開催日時：平成22年11月17日（日）・午前10時～午後4時・来場者数 1,443人				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	23年度も引き続き、消費生活展については市民まつりの中で実施予定、その他消費生活情報については、公民館まつり等を活用して消費者啓発に努める。				

事業番号	59	事業名	中学3年生・高校3年生等へ啓発リーフレット配布	担当課	消費生活センター
計画内容	市内の中学3年生・高校3年生全生徒に、悪質商法や携帯電話トラブルの啓発リーフレットを配布します。同時に、若者の相談の現状や出前講座の案内を行い、パンフレットの配布と共に出前講座の実施を推進します。				
	学校数・配付数	平成20年実績	14校 2,347枚	平成26年目標	対象：市内全校
平成22年度 実施状況と評価	卒業時期及び入学時にあわせて、市内公立・私立の中学3年・高校3年生全生徒に悪質商法や携帯電話トラブルの啓発リーフレットを配布し悪質商法等のトラブル防止に努める 平成23年3月末実績値 平成22年度配布数 16校 約4,315枚				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	今後も継続的に本事業を実施していく。				

(3) 地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上

事業番号	60	事業名	【重点】多世代交流事業の実施		担当課	青少年課 保育幼稚園課
計画内容	<p>(青少年課) 子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。</p> <p>(保育幼稚園課) 健全な社会環境の整備に向け、子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。</p>					
	(青少年課) 実施クラブ数	平成20年実績	5クラブ	平成26年目標		6クラブ
	(保育幼稚園課) 事業受け入れ	平成20年実績	実施	平成26年目標		実施
平成22年度 実施状況と評価	<p>【青少年課】子どもの日常生活から、高齢者の方々と交わる場面が失われていることから、児童育成クラブの児童と地域の高齢者との交流を図る。3月末（春休み期間中）に交流を図る予定であったが、東日本大震災の影響により事業が中止となった。</p> <p>【保育幼稚園課】近隣の小学校や高齢者施設等を訪問し、世代間交流を実施している。世代間交流の場として、近隣の小学校や高齢者施設等を訪問することにより、普段の保育園生活と違った体験ができた。</p>					
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>【青少年課】最近では、世間で子どもを狙う様々な事件が起きていることや、不審者情報も頻繁に流れる状況を見ると、地域の高齢者との交流は重要となる。実施については引き続き老人クラブとの調整を図るとともに、その他、支部社協等との交流など活動の検討を図っていく。</p> <p>【保育幼稚園課】健全な社会環境の整備に向け、子どもたちが地域社会でのさまざまな活動や体験を通じて、豊かな人間性を育成するために、今後も継続して実施する。</p>					

事業番号	61	事業名	【重点】地域・学校保健連絡推進部会の開催		担当課	健康増進課
計画内容	<p>子どもの生きる力や情報を選び取る力、自分の意志を伝える力等を育むため、家庭・地域・学校が一体となって取り組むための方向性や内容を検討する「地域・学校保健連絡推進部会」を開催します。</p>					
	開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標		2回
平成22年度 実施状況と評価	<p>6月に健康うらやす21推進検討委員会と合同開催し、今後の方向性について話し合いを行った。3月実施については震災のため中止となった。各専門部会は未実施の状況</p> <p>平成23年3月末現在実績値 1回</p>					
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>2回実施予定 専門部会については、こどもの健康全般について検討していくよう一本化を考える。</p>					

事業番号	62	事業名	教育講演会の実施	担当課	教育総務部 指導課 教育研究センター					
計画内容	<p>未来を担う子どもの教育について、学校・家庭・地域・行政で共に考えるフォーラムや教育講演回を実施します。</p> <table border="1"> <tr> <td>開催回数</td> <td>平成20年実績</td> <td>2回</td> <td>平成26年目標</td> <td>2回</td> </tr> </table>					開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標	2回
開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標	2回						
平成22年度 実施状況と評価	<p>今後の教育の方向性を見据え、未来を担う子どもたちの教育について学校・家庭・地域・行政が、共に学ぶ場としての教育講演会を以下の通り開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時 平成22年8月2日(月) 14時～15時50分(13時30分 開場) 2. 会場 浦安市文化会館 小ホール(入場無料) 3. 対象 浦安市立小・中学校、幼稚園、保育園の保護者及び教職員、市民 4. 内容 (講師)米長 邦雄氏 (演題)『よく遊び、よく学べ』 <p>参加人数 教職員215名、保護者55名、一般52名、行政23名 計345名</p> <p>アンケートを提出していただいた217名のうちの94%の方が、教育講演会はよかった(「とてもよかった」+「よかった」と回答している。アンケートの内容を見ると、「教育界とは別の分野の専門家やプロの話をお聴くことはとても有意義であると思う。」等、様々な視点から、教育に関連した話を聴くことができよかったという意見が多数であった。また、昨年度に比べて、一般の参加者が増加したことからも、4者が共に教育について学ぶ場であるという講演会の趣旨に適していたと考える。</p> <p>また、平成23年3月12日(土)に、生涯学習フォーラムを実施する予定でしたが、震災のため中止となりました。</p>									
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>学校・家庭・地域・行政が共に学ぶ場として、継続して開催していきたい。「今後の教育の方向性を見据えたものであること」「4者が共に学ぶ場であること」を考慮し、平成22年度のアンケート結果を加味しながら、参加者のニーズや時代の要請に合致したテーマの設定や講師の選定を行い、内容の充実を図っていきたい。</p>									

事業番号	63	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館 (健康増進課 市民課)
計画内容	<p>出生届けの際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを合わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。</p>				
	延べ参加者数	平成20年実績	879人	平成26年目標	900人
平成22年度 実施状況と評価	<p>市民課で出生届の際に記念品として絵本を配布。その後、健康増進課から各家庭への通知の際に事業の案内をあわせて行い、生後4ヶ月以降の親子を対象に中央図書館でブックスタート絵本講座を実施した。講座では、絵本の与え方楽しみ方を伝えるとともに簡単なわらべうた遊びも紹介した。なお、3月11日の講座、3回目を実施中に東日本大震災が発生。4回目は中止とした。</p> <p>平成22年度 ブックスタート絵本講座実施状況 実施回数 47回(毎月第2金曜午後 地域ごとにグループに分け4回実施) 参加人数 764人</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	継続。他の自治体の実施状況を参考とした広報の強化。				

事業番号	64	事業名	児童集会事業の実施	担当課	中央図書館																														
計画内容	<p>児童を対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」などを実施します。また、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施します。</p>																																		
	延参加者数	平成20年実績	7,730人	平成26年目標	8,000人																														
平成22年度 実施状況と評価	<p>児童を対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」等を実施。また、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施した。なお、東日本大震災の発生により3月12日以降、図書館は閉館となり「おはなし会」「えほんのじかん」の開催も中止となった。</p> <p>平成22年度 児童集会事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>20回</td> <td>121人</td> </tr> <tr> <td>えほんのじかん</td> <td>554回</td> <td>6,267人</td> </tr> <tr> <td>科学で遊ぼう</td> <td>2回</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>おたのしみ会</td> <td>2回</td> <td>177人</td> </tr> <tr> <td>わらべうたの会</td> <td>24回</td> <td>467人</td> </tr> <tr> <td>絵本のよみきかせ講座</td> <td>2回</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ絵本講座</td> <td>6回</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>子どもの本の講座</td> <td>1回</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>など</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成22年7月には、新たに高洲分館が開館した。「えほんのじかん」については、日の出分館での混雑が緩和され、高洲分館で新たに参加した児童もあり、市内全域の子どもへのサービスが拡大した。また、継続行事についても「親子で楽しむ絵本講座」の対象年齢の枠組みを変更。「絵本よみきかせ講座」も実技指導を強化するために、募集定員を絞って実施するなど、参加者の声を反映して、講座の持ち方の見直しを行うように努めた。</p>						実施回数	参加人数	おはなし会	20回	121人	えほんのじかん	554回	6,267人	科学で遊ぼう	2回	53人	おたのしみ会	2回	177人	わらべうたの会	24回	467人	絵本のよみきかせ講座	2回	61人	親子で楽しむ絵本講座	6回	136人	子どもの本の講座	1回	65人			など
	実施回数	参加人数																																	
おはなし会	20回	121人																																	
えほんのじかん	554回	6,267人																																	
科学で遊ぼう	2回	53人																																	
おたのしみ会	2回	177人																																	
わらべうたの会	24回	467人																																	
絵本のよみきかせ講座	2回	61人																																	
親子で楽しむ絵本講座	6回	136人																																	
子どもの本の講座	1回	65人																																	
		など																																	
平成23年度 事業予定と 今後の課題	平成23年度は、震災に伴う事業の見直しにより、講師謝礼を必要とする「科学で遊ぼう」「子どもの本の講座」は開催しないが、図書館職員が講師であるその他の事業は継続して実施する。ただし、震災に伴う休館中は「おはなし会」「えほんのじかん」を開催しない。実施に当たっては、今年度の参加者の声も参考に、開催時期・募集方法・定員などの見直しを適性に行っていきたい。また、広報についても、さらに工夫を行いたい。																																		

事業番号	65	事業名	図書館における児童サービス事業の実施	担当課	中央図書館
計画内容	<p>子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）に子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談を行います。また、ホームページを活用して、推薦図書の紹介等を行います。学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出や、それぞれの施設に向いて、絵本のよみかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを実施するとともに、職業体験等の受入れを行い図書館への理解を促します。子どもと読書に関する講師派遣も行います。</p>				
	児童書貸出冊数	平成20年実績	499,333冊	平成26年目標	500,000冊
平成22年度 実施状況と評価	<p>子どもと本を結びつけ、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）に読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出、紹介や読書相談を行っている。 学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出や各施設に職員を派遣して、よみかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを実施。PTA等へのよみかせの講座等も行っている。なお、東日本大震災の発生に伴い、以降の図書館休館中は貸出も停止、3月12日以降に予定していた類縁機関サービスも中止した。 平成22年度 児童書貸出冊数 518,428冊 平成22年度類縁機関サービス実施状況 実施880回 参加者数 24,129名</p> <p>平成22年7月の高洲分館の開館により、児童の貸出が大きく増加した。身近な場所に図書館ができたことが、子どもの読書環境の向上に大きく貢献したと考えている。市内の類縁機関については、派遣回数は微減しているが、PTAの要望に応じたよみかせ講座への講師派遣など、各校や園での自主的な活動の援助で、間接的な支援を強化している。また、職業体験の受入の増加など、新しい形の連携事業も増えている。</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>直接的な読書普及に関する根幹的な事業であり、継続的に取り組んでいきたいが、震災に伴う休館のため、一時的に実施できない期間が発生する。類縁機関との連携としては、市内の小中学校や保育園が増加しているため、1校に対しての回数は減少傾向にあるが、全校・全園との連携に努めたい。また、職員の直接派遣は限界があるため、PTAやよみかせボランティアへの援助にも配慮していきたい。</p>				

事業番号	66	事業名	郷土博物館における幼児・児童、生徒対象事業の充実	担当課	郷土博物館
計画内容	<p>幼児、児童、生徒対象事業を企画・実施し、子どもが体験を通じ向学心を育むための各種事業の充実を図ります。</p>				
	延参加者数	平成20年実績	16,341人	平成26年目標	20,000人
平成22年度 実施状況と評価	<p>団体利用 幼稚園：博物館展示の見学や昔遊びやペカ舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。 小学校：昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔すき編み、ペカ舟乗船体験、境川の環境学習 など</p> <p>一般利用 昔遊びと生活体験：ペーゴマ、こま、竹馬、おもちゃ作り、お手玉、わらべうた、ゆかたの着付け など 体験教室：勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、ぼったら体験、浦安かるた作り、境川乗船体験 など 観察会：干潟観察会、野鳥観察会 など 季節の行事体験：七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカンケなど</p> <p>保育園・幼稚園・小中学校の団体利用については、指導者との打ち合わせによって活用に対する希望を最大限度生かせるよう努力し、おおむね好評である。一般利用については、事業により参加者数のバラつきもあることから、内容の見直しなど改善の余地があるものと考え。</p> <p>平成23年3月末現在実績値（速報値） 17,773人 団体利用 9,142人、一般利用については8,631人</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>・事業内容の見直しをしながら、継続的に対応していく。</p>				

事業番号	67	事業名 土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	各公民館において、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を企画・実施し、子どもの「生きる力」を育むための各種教室や交流事業を実施します			
	事業数	平成20年実績	66事業	平成26年目標 70事業
平成22年度 実施状況と評価	<p>学校完全週5日制に対応した事業の実施</p> <p>*中央公民館 件数：7件 父の日企画～お母さんと一緒にクッキング～(2件)・親子工作教室(2件)・親子のエコクッキング(1件) 他</p> <p>*堀江公民館 実績件数：8件 実績内容：母の日企画～パパと一緒にクッキング～(2件)・自然観察(2件)・クリスマスリース作り(1件)・岡田京子さんとうたう会(1件)・クリスマス会(2件) 震災で中止となったための回数減</p> <p>*富岡公民館 実績件数：7件 実績内容：富岡チャレンジ隊(施設見学・体験学習・調理実習等)(年7回・土曜日)富岡ジュニア合唱隊(年19回・土曜日)・とみおかジュニア囲碁ひろば(年39回毎週土曜日)・子どもフラワーアレンジ(1回)・プチクリスマスリースを作ろう!(1回)親子マジック教室(1回)・節分の豆まき&日本の昔遊びを楽しむ講座(1回) 単発で各土曜日</p> <p>*当代島公民館 実績件数：3件 実績内容：当代島軽スポーツくらぶ、ハロウィーンの飾りとクッキーを作ろう、干支の絵手紙で年賀状を作ろう</p> <p>*美浜公民館 実績件数：5件 実績内容：森の音キャッチ名人(3件)・親子手話教室(1件)・手作りお菓子でバレンタイン(1件)</p> <p>*高洲公民館 実績件数：19件 実績内容：親子英語教室(2件)・地域交流ブラザクリスマス会(1件)・高洲こどもクッキング(1件)・体験!クライミングウォール(6件)・クライミングウォール利用者説明会(2件)他</p> <p>長期休み期間等に対応した事業の実施</p> <p>*中央公民館 実績件数：13件 夏休みエコ工作(2件)・夏休みエコクッキング(1件)・夏休み子ども教室「絵手紙をつくろう」(1件)・夏休み子ども映画会(1件)・夏休み科学遊び(2件)・夏休み親子工作教室(2件)・泥だんごをつくろう(2件)・昆虫切り折り紙教室(1件) 紙きりをやってみませんか?(1件)</p> <p>*堀江公民館 実績件数：20件 リサイクル工作(1件)・アフガニスタンの子どもたち(1件)・平和映画会(1件)・木工教室(1件)・科学遊び(3件)・子ども陶芸(2件)・夏のお楽しみ会(2件)・七草粥を作ろう!(1件)・作って、飾ろう!ステンドグラス(1件)</p> <p>*富岡公民館 実績件数：10件 夏休み子ども教室ワイヤー体験(1回)・夏休み子ども料理教室(2回)・夏休み子ども茶道体験(2回)・夏休み子どもサンドアート体験(1回)・夏休み子どもスイーツ作り(1回)・夏休み子ども映画会(1回)他</p> <p>*当代島公民館 実績件数：14件 実績内容：夏休み親子で楽しむ書道教室、環境のおはなし～電気とごみ～、夏休み子ども銀粘土で工作、夏休み子どもサイエンス教室1・2、平和映画会、かわいい小物を紙粘土で作ってみよう、夏休み子ども囲碁入門講座、夏休み子ども草木染め体験、かんたん手作りおやつクッキング、オシャレさんになろう!「ファッションカラーコーディネート」、次世代交流パンづくり教室、お正月のお雑煮を作ってみよう、小学生集まれ!書き初めを楽しもう</p> <p>*美浜公民館 実績件数：9件 実績内容：子どもフラダンス(1件)・子ども折紙教室(1件)・子ども夏まつり(1件)・平和映画会(1件)・虫よけスプレーを作ろう!(1件)・親子で缶嚮製作(1件)・モバイルプラネタリウムin美浜(1件)・ミサンガ作り教室(1件) 他</p> <p>*日の出公民館 実績件数：15件 15事業中、震災の影響で1事業は完結できず、1事業については中止した。</p> <p>*高洲公民館 実績件数：37件 実績内容：囲碁将棋広場(6件)・夏休み親子陶芸教室(1件)・夏の子どもの環境講座(2件)・夏の親子クッキング(2件)・夏のこどもクッキング(2件)・こども工作教室(1件)・体験!クライミングウォール(20件)・親子英語教室(1件)高洲ペーゴ広場(1件)・囲碁将棋広場(1件)</p>			
平成23年度 事業予定と 今後の課題	子どもの居場所づくりのため、又、子ども同士の交流を図りながら、思いやりや協調性・社会性を育て、物を自分で作る達成感などを体験・体験してもらう事を目的とし、今後においても事業を計画していきたい。			

事業番号	68	事業名	健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施		担当課	各公民館	
計画内容	地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上に向けた役割を持つ施設として、各公民館において健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上につながる事業を展開します。						
	事業数	平成20年実績	58事業	平成26年目標	60事業	<p>平成22年度 実施状況と評価</p>	
<p>中央公民館主催事業 実績件数：69件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、公民館合同家庭教育講演会（年1回）、公民館合同情報交換会（2回）、家庭教育学級（58回）内訳・若草・神明幼稚園合同（17回）・浦安小学校（17回）・東小学校（15回）・中学校合同（9回）、働くパパ&ママのための家庭教育講演会（1回）、「パパはママの最強なサポーター」（1回）、パパの子そだて・親そだち講座（5回）</p>							
<p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。また、働く保護者でも講座に参加できるように3学期は土・日曜日に開催するようにした。</p>							
<p>堀江公民館主催事業 実績件数：14件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、家庭教育学級3学級（幼稚園2学級：38回・小学校1学級：15回）、おひさまクラブ（20回）（前期：11回・後期：8回）、子育て支援講座（7回）、親と子のずくぼんじょ（10回）・たけんこ（11回）、ボランティア講座布の絵本（4回）、わくわくキッズ道場（16回）、放課後わくわく広場（9回）、春のつどい・豆まきとお茶会（各単発） 震災で中止となったための回数減</p>							
<p>特に通年で開催されているものは、親子同士の仲間作りが図られ、受身にならず積極的に参加している姿勢が見られる。また毎月1回のおはなし会（ずくぼんじょ・たけんこ）は、地域の方・子ども達が気軽に参加できる交流の場になっている。今年度の家庭教育学級では、幼稚園の保護者の参加人数が増え、学級数も1学級増えた。学習方法も、企画運営方式により意欲的に取り組んでいる。</p>							
<p>富岡公民館主催事業 実績件数：99件 実施内容：公民館文化祭（年1回）・親子であそぼう富岡ひろば（年10回×2）・親子で楽しむわらべうたとえほんの会（年10回×2）・子育てママのリフレッシュセミナー（4回）・富岡小・東野小家庭教育学級（18回）・見明川小家庭教育学級（12回）・富岡・見明川・浦安幼稚園合同家庭教育学級（16回）親子であそぼう富岡ひろば（2回）震災により中止・親子で楽しむわらべうたとえほんの会（2回）震災により中止</p>							
<p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開し有意義であった。子育てリフレッシュ講座では、「アロマセラピー」を開催し、癒しの時間を持って事で参加者に好評でした。また、通年を通じた事業では親同士の情報交換・子ども同士の学習や交流の場となっています。</p>							
<p>当代島公民館主催事業 実績件数：8事業 実施内容：公民館文化祭（年1回）、体育館一般開放（毎月2回、）つゆどき親子向け体育館開放（年4回）、芝生広場の開放（4-12月）、家庭教育学級・2学級（2幼稚園合同で1学級、小学校1学級）、親子フットサル体験教室（1回）震災のため中止、世代間交流もちつき大会、親子で和太鼓にチャレンジしよう（全12回）震災のため平成22年度は1回開催）</p>							
<p>体育館一般開放は、自由に体を動かす機会とすると同時に、安全管理者を配置することにより、遊びながらルールを身につけることを学ぶことができる。平成22年度からは、スポーツインストラクターに来ていただき、道具の扱い方や指導もしていただいている。平成17年度からは、梅雨の時期に乳幼児と保護者を対象に体育館を開放している。家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開している。和太鼓やもちつき大会は、地域の人たちの協力を得ながら開催する。</p>							
<p>美浜公民館主催事業 実績件数：5事業 実施内容：公民館文化祭（年1回）、入船南・美浜北・美浜南幼稚園家庭教育学級（15回）、美浜南・入船南・入船北・美浜北小学校家庭教育学級（13回）、親子手話教室（全4回）、子ども夏まつり（1回）</p>							
<p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。</p>							
<p>日の出公民館主催事業 実績件数：8件 小さい子どもを持つ核家族が多い地域であり、家庭教育学級等では参加者各自の悩みなどの話し合い、講師を招いての講演など、高い関心を持って事業に参加されたものと考え。おはなし会では、親子あるいは子どもたちに読み聞かせに高い関心を喚起したものと考え。震災の影響で1事業については最終回の開催を中止した。</p>							
<p>高洲公民館主催事業 実績件数：23回 おひさがあったかいまめっちょ（読み聞かせ等、12回）・おはなしの森（11回）</p>							
<p>22年度は、高洲公民館の開館が、7月であったため、家庭教育学級が実施できず、読み聞かせを主体とする親子の事業のみの実施となったが、23年度の開講に向け、学習テーマの提案準備を行なった。</p>							

平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>中央公民館 今後も、家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。また、23年度には毎月継続して土もしくは日曜日に子育てミーティング(働く保護者向け家庭教育講演会)を開催したい。</p> <p>堀江公民館 これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域の方々子どもたちの顔の見える関係作りができる事業を計画していきたい。</p> <p>富岡公民館 次年度以降も、家庭教育の充実を目的とした支援を図っていくための事業を実施いきたい。又、家庭・地域教育力の向上を図るためにも、今後、参加者が受講しやすい開催日時などを考慮しながら実施していきたい。</p> <p>当代島公民館 これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域と子どもたちを結びつける事業を計画していきたい。</p> <p>美浜公民館 今後も、家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。</p> <p>日の出公民館 高洲公民館開設により、参加者が分散される可能性もあるが、23年度も同様な事業展開を図っていく。</p> <p>高洲公民館 23年度から家庭教育学級を開講予定。</p>
--------------------------	--

事業番号	69	事業名	子ども映画会開催事業	担当課	視聴覚ライブラリー
計画内容	<p>子どもに質の良い映画を観る機会を増やすために、月2回(定員100人、年24回)、子ども映画会を実施しています。引き続き、ポスターやチラシなどを作成し教育機関などに周知を行い、来場者の増加を目指します。</p> <p>延参加者数 平成20年実績 1,879人 平成26年目標 2,000人</p>				
平成22年度 実施状況と評価	<p>学校完全週5日制に伴う「学習機会の拡充・子どもの居場所づくり」事業の実施 開催内容：子ども映画会 毎月第2・4土曜日(年24回) 参加対象：小学生以下の子ども及びその保護者</p> <p>近年、簡便な映像機器が普及し、日常生活では16ミリ映画フィルムにて鑑賞する機会は減ってきているが、16ミリ映画フィルムには、色彩の豊かさや映写による映像効果も大きく、親子で作品を鑑賞することでコミュニケーションが図れ、「心の教育の充実」や「豊かな心を育む」ことができる。引き続き手作りポスターやチラシ等を作成し、教育機関等に周知し参加者の増加に努めたい。</p> <p>平成22年度末実績値 1,819名(3月開催分については、震災の影響により中止)</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>主に子どもの居場所づくりの一助として、映像を通して「心の教育の充実」や「豊かな心を育む」ことが図れること。また、親子のコミュニケーションにも繋がることから継続して実施していきたい事業である。引き続き手作りポスターやチラシ等を作成し、教育機関等に周知し参加者の増加に努めたい。</p>				

事業番号	70	事業名	青少年相談員による健全育成活動	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年相談員の活動を通じて、自主事業だけに留まらず、市における青少年健全育成活動における地域の担い手として活躍の場を広げていきます。</p> <p>延参加者数 平成20年実績 1,859人 平成26年目標 1,900人</p>				
平成22年度 実施状況と評価	<p>平成22年度4月に第17期青少年相談員55名を新たに委嘱した。市内8中学校区における地域活動含め、文化、スポーツ、広報、研修などの分野における青少年の育成活動や自己啓発活動を行っている。約半数の青少年相談員が新しく入れ替わってはいるが、今までの実績を踏まえながら各事業に改善を加え市内の青少年の健全育成活動の推進を図っており、参加者のニーズも増えてきている。</p> <p>平成23年3月末現在実績値 延べ参加者数936人</p>				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	<p>任期2年目を迎えるため、再度事業内容の改善を取入れた事業計画の作成を行う。</p>				

事業番号	71	事業名	青少年問題協議会の設置・開催	担当課	青少年課
計画内容	青少年の健全育成を図るための協議会について、新たな委員の補充を行い、市の青少年施策を効果的に実行できるような体制づくりを行います。				
	開催回数	平成20年実績	1回	平成26年目標	1回
平成22年度 実施状況と評価	平成23年1月19日に会議を実施した。 議題 青少年の補導状況 青少年犯罪状況 エスレ高洲・高洲児童センター利用状況について 青少年問題の原因及び対応策を協議することで、今後の青少年の健全育成を図ることができる。 子ども達を取巻く各団体の長が集まり、お互いに問題を共有し情報を交換する場として意義があると思われる。				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	条例に応じた委員数の確保及び任期満了に伴う委員の委嘱				

事業番号	72	事業名	少年の広場の充実	担当課	青少年課
計画内容	市内において野外体験活動が行える唯一の場所である少年の広場について、今後も利用しやすい環境を整備・改善しながら、青少年の健全育成活動を促進していきます。				
	延利用者数	平成20年実績	4,064人	平成26年目標	4,300人
平成22年度 実施状況と評価	青少年団体等の野外活動の場として、浦安市施設利用振興公社に委託し施設運営している。公社の自主事業も取り込みながら、より一層の利用促進を図っている。 運営管理を委託している浦安市施設利用振興公社による、野外活動の事業などを実施しながら、利用促進を図っている。利用者の声も反映しながら施設改善も行っている。 平成23年3月末現在実績値 3,360人 震災以降は閉館				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	平成22年度と同様に実施し、施設の修繕も行っていく。				

事業番号	73	事業名	【実施】 放課後異年齢児交流促進事業	担当課	青少年課
計画内容	小学校における余裕教室等において実施する放課後異年齢児交流促進事業について、現状を継続しながら内容に工夫を凝らし、子どもにとって安心して安全な遊び場としての機能の向上を図っていきます。				
	実施校数	平成20年実績	5校	平成26年目標	拡大
	利用者数	平成20年実績	49,988人	平成26年目標	55,000人
平成22年度 実施状況と評価	学校施設を利用して「遊び場」を確保し、遊びを通じた異年齢児間の交流の促進することにより児童の自主性・社会性を養い、児童の健全な育成を図っている。市内5小学校にて実施（入船北、日の出、南、東、明海） 平成21年度より5校全てで「放課後子どもプラン」を導入、学びの場の展開を図っている。公民館との協働事業や地域ボランティアの参加などもあり、少しずつではあるが活動の充実に向っている。 平成22年3月末現在実績値 56,766人 震災以降は各クラブ閉館				
平成23年度 事業予定と 今後の課題	新たに1施設を開設予定。教育委員会との協議を重ね拡充に努める				

(4) 地域で子どもが健全に育つ環境対策の推進

事業番号	74	事業名	薬物乱用防止等対策の推進	担当課	保健体育安全課
計画内容	薬物使用及び喫煙の健康に及ぼす影響についての知識を学ぶ機会を設けます。				
	防止教室	平成20年実績	小学校 8校 中学校 2校	平成26年目標	小学校 18校 中学校 8校
平成22年度	学校保健委員会等で薬物乱用防止教室や警察、薬剤師会、浦安ライオンズクラブ等による講演会等を実施している学校数				
実施状況と評価	<p>小学校13校 中学校3校 (参加した延べ人数小学校1332名、中学校907名) 上記の他、保健学習はほとんどの学校で実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の児童・生徒の薬物乱用に関する事例はみられず、中学生の喫煙行動が若干ある程度であり、これは、各学校の年間計画に基づく薬物乱用防止の取り組みの成果といえる。 各学校において、学校保健委員会等を利用し実施していることから、保護者や地域への啓発につながっているものと思われる。 				
平成23年度事業予定と今後の課題	保健学習の充実を図るとともに学校保健委員会の中で講演会等を実施していく。講師は栄養士や学識経験者とし、生命や健康、性に関する児童・生徒の正しい理解を図り、併せて保護者に対する情報提供の機会を充実させていく。				

事業番号	75	事業名	販売業者に対する対面販売の呼びかけ実施	担当課	青少年センター
計画内容	未成年者にタバコやお酒を売らないよう、販売業者に対する対面販売の呼びかけを実施します				
	啓発	平成20年実績	実施	平成26年目標	継続
平成22年度	未実施				
実施状況と評価	未実施				
平成23年度事業予定と今後の課題	未実施				

事業番号	76	事業名	青少年補導員による地域パトロールの実施	担当課	青少年センター																
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。																				
	実施回数	平成20年実績	431回	平成26年目標	450回																
平成22年度	青少年センターが主催する月6回の中央パトロールや各中学校区で自主的に実施する地区パトロール(原則各地区月2回)、及び花火大会や盆踊り等の市の行事では、積極的にパトロールを実施している。																				
実施状況と評価	<p>22年度パトロール実施回数と従事者人数(3月末日現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>中央パトロール</td> <td>65回</td> <td>延べ</td> <td>325名</td> </tr> <tr> <td>地区パトロール</td> <td>166回</td> <td>延べ</td> <td>1,258名</td> </tr> <tr> <td>特別パトロール</td> <td>14回</td> <td>延べ</td> <td>586名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>245回</td> <td>延べ</td> <td>2,169名</td> </tr> </table> <p>本年度も、通常のパトロールに加え、夏季休業中における深夜徘徊実態調査パトロールを2回、県下一斉広域列車パトロールを2回実施し、深夜の子ども達や列車内や駅での実態の把握を行うことができた。また、パトロール時に着用している白のポロシャツやジャンパー、蛍光色の帽子が浸透してきたようで、パトロールが防犯活動にもつながっている。</p>					中央パトロール	65回	延べ	325名	地区パトロール	166回	延べ	1,258名	特別パトロール	14回	延べ	586名	合計	245回	延べ	2,169名
中央パトロール	65回	延べ	325名																		
地区パトロール	166回	延べ	1,258名																		
特別パトロール	14回	延べ	586名																		
合計	245回	延べ	2,169名																		
平成23年度事業予定と今後の課題	花火大会や盆踊りパトロール等の特別パトロールをはじめ、補導員の一層の参加を求めていく。																				

事業番号	77	事業名	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動の充実		担当課	防犯課
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。					
	キャンペーン実施回数	平成20年実績	4回	平成26年目標	6回	
	防犯教室開催回数	平成20年実績	46回	平成26年目標	92回	
	防犯講習会講演会開催回数	平成20年実績	20回	平成26年目標	40回	
	連れ去り防止教室開催回数	平成20年実績	34回	平成26年目標	40回	
平成22年度 実施状況と評価	<p>夏休み前と年末に子どもの見守りや空き巣、ひったくりなどの刑法犯罪を主眼においた市内一斉防犯キャンペーンと市内一斉防犯パトロールを防犯協会、警察署並びに関係機関と協力し実施した。青色回転灯を装備した防犯パトカーによる市内巡回において、児童の登下校時刻には通学路等を中心に巡回させ、児童の安全確保を行った。防犯支部長や一般市民向けに防犯講演会を開催、また自治会や各種団体を対象に、防犯講話等を実施した。</p> <p>子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」に向け、市の責務としている。情報の発信、自主防犯活動の支援、児童の安全対策が遂行できたことは評価できる。犯罪認知件数を23年までに2,500件以下にする目標の達成を目指す。</p> <p>平成23年3月末現在実績値 2回、17回、は95「移動防犯活動事業」へ移行</p>					
平成23年度 事業予定と 今後の課題	防犯意識浦安市防犯計画で掲げた23年までに犯罪認知件数2,500件以下の目標達成に向けて、市民の防犯意識の高揚に努める。					